

赤痢

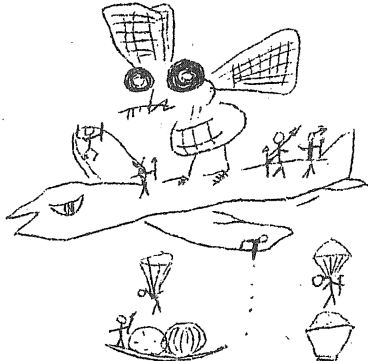
昭和38年5月
発行
赤痢
編集
総務課

伝染病を防ぐには 細菌はどこにでも

暑さとともに細菌の繁殖しやすい季節となり、伝染病特に赤痢の発生が多い時期となりました。

赤痢菌は患者の腸の中に住んでおり、これが糞便とともに外へ出て、ハエやネズミの足、又、患者の手について運ばれます。そして健康な人の口から暑さのため弱っている腸の中であられ、次から次へと伝染してきます。

又、菌は患者だけでなく健康な人の腸にも住んでいることがあります。これを健康保菌者といっています。健康保菌者は一〇〇〇人に六人の割合でいると考えられています。



このように沢山の赤痢菌の中でどのようにして伝染を防ぐ事が出来るでしょうか。それは、細菌の輸送機、輸送車の役目をするハエ、ネズミ等を退治し、又、自身の手洗いを励行し、細菌の広がりを防がなければなりません。

細菌の輸送機 カ、ハエ退治

衛生害虫の駆除については例年各地区に於て婦人会、青年団、部落会等によりそれぞれ協力して、熱心に駆除作業が続けられておりますが、この駆除作業には衛生害虫、特に蚊、ハエにはどんな種類があり、どこで育っているかをまず最初に考えてみる必要があります。「つまり発生源を知り、そこに対して有効な駆除作業を行うことが一番適切な方法というわけです」

日本にはおよそ六十種以上の蚊がいます。しかしわれわれの生活に大きな関係をもつものは、その多いものではありません。重要な蚊の種類と発生源を表示

手を洗いましょう

私達の手に目には見えないけれどもいろいろの細菌がいつぱいつぱい付いています。このよごれた手で調理をしたり、ものをつまんで食べたりして伝染病にかかると事が多いのです。

お互い一人一人の手がきれいになれば消化器系（赤痢、疫痢等）の伝染病は防ぎ事が出来ま

す。次のような時には水を沢山つけて何度か手をよくこすって洗いましょう。

- ①調理の前 ②用便の後
- ③食事の前 ④外より帰った時は手洗いと同じ時にウガイも必ず実行しましょう。

それその分布範囲は非常に広く重要なハエの種類と発生源を表示してみようと次のようになります。

蚊の種類	発生源
オウゴンヤブカ	墓地の花竹筒
トウゴウヤブカ	竹筒
ヤマトヤブカ	水溜
ヒトスジシマカ	沼沢
アカイエカ	水田
コガタアカイエカ	肥溜
シナハマダラカ	潮だまり

注 十廿卅は発生の程度を示す表をみてすぐ気がつくことは「ハエの育つ場所がすべて、人間の生活の場、にある」といえます。これら環境を改善することによって発生を喰い止めることができるわけであり、この発生源対策に重点をおいて駆除作業を進めなければなりません。

妊婦の栄養

母となる日のために

お腹の中で赤ちゃんが出来るはじめるのは心臓や肺臓などより早く、妊娠してから大抵一カ月から二カ月の間です。弱く作られた歯はあとになって、どんなに栄養や清潔に注意しても虫歯になりやすいのです。それで妊娠した事がわかれば歯を丈夫にする食物を充分にとることが第一に必要です。大体食物は偏らず食べることが健康上大切ですが、特に歯を丈夫にするには、カルシウムや牛乳、鱈を多く含む食物、ビタミンA、C、Dを多く含むものを平常より多く食べることが必要です。最近ではビタミン剤や、カルシウム剤を医師や歯科医師の指導により用いる人が多いようですが、私達は台所でも、工夫すれば充分にあるのです。例えばビタミンCは大根おろし、人参をおろしてビタミンA、椎茸でビタミンDの補給ができます。此の大切な栄養を逃さないよう調理し、手近なところから栄養を求めよう心掛けたいものです。

健康相談日開設

本年度より大洲保健所に於て妊産婦、乳幼児健康相談日が開設されております。

- 毎週火曜日 午後1時～3時
○新田産婦人科医院
- 毎週水曜日 午後1時～3時
○宇都宮小児科医院
- 毎週木曜日 午後1時～3時
○宇都宮第一先生

「記事訂正」

前月号の町議会記事で、「一定資産評価委員会」とあるのを訂正します。

(3)

昭和37年度(37.4.1~38.3.31)家畜・建物共済部落別加入実績表(家畜加入頭数 570頭 建物加入金額 1億5千37万円)(表1)

地区	部 落	家 畜 加 入 頭 数					建 物 加 入 件 数 金 額	
		乳 牛 頭	育 成 頭	和 牛 頭	馬 頭	合 計	件 数	金 額
和 川 字	小 畑 井			4		4	9	1,350,000
	萩 野 尾			4		4		0
	汗 生			10		10	32	5,300,000
	道 野 尾		1	5		6	8	530,000
	上 森 山			8		8		0
	山 祖			5		5	26	2,890,000
	協 生			12		12	30	2,510,000
	嘉 城			13		13	2	500,000
	共 栄	2	1	7		10	13	2,230,000
	中 居 谷			47	2	49	38	9,010,000
	小 計	2	2	115	2	121	158	24,320,000
大 谷	白 石	6	1	15	2	24	26	3,470,000
	影 地	4	1	6		11	16	2,120,000
	広 常	11	3	15		29	20	2,960,000
	久 保	2		8		10	13	3,050,000
	知 者 の 木			9		9	13	1,300,000
	大 平	6	4	13		23	27	5,500,000
	大 屋 敷	1	1	9		11	17	2,650,000
	森	6		9		15	3	400,000
	脇 栄	2	1	4		7	15	4,430,000
	小 計	38	11	88	2	139	150	25,880,000
中 央	大 和	6	3	8		17	29	4,530,000
	中 野			8		8	16	7,200,000
	小 篠	7	1	42		50	62	10,850,000
	下 鹿 の 川			1		1	23	13,300,000
	上 鹿 の 川	1		1		2	27	15,300,000
	京 造			1		1	4	1,700,000
	奥 の 山			1		1	3	1,000,000
	見 の 越			4		4	7	350,000
	月 の 尾			12		12	15	1,550,000
	小 計	14	4	78		96	186	55,780,000
岩 谷	小 倉			7		7	7	2,350,000
	中 津			22		22	1	700,000
	小 計			19		19	8	3,050,000
岩 谷	下 敷 水			1		1	10	960,000
	敷 水			23		23	26	2,910,000
	下 サ ガ ヤ			12	1	13	5	1,250,000
	上 サ ガ ヤ	1		14		15	16	5,930,000
	菟 の 尾			12		12	18	5,750,000
	小 計	1		62	1	64	75	16,800,000
予 子 林	柳	3		12		15	11	2,180,000
	郷			15		15	20	2,000,000
	市 の 畦	3		4		7	12	2,130,000
	爪 生 谷	6	3	2		11	13	2,110,000
	町			3		3	16	1,860,000
	藤 の 原	7		7		14	17	510,000
小 計	19	3	43		65	89	10,790,000	
団体加入他			56			1	13,750,000	
合 計		74	20	471	5	570	667	150,370,000

(4)

○家畜共済掛金表(昭和38年度より昭和41年度まで適用)

(表2)

乳牛		育成乳牛		和牛		馬		山羊		綿羊		豚	
加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金
30,000	2,255	40,000	1,890	10,000	370	10,000	730	3,000	1,160	3,000	932	4,000	594
50,000	3,685	50,000	2,335	20,000	630	15,000	1,040	5,000	1,860	6,000	1,754	8,000	1,078
60,000	4,550	60,000	2,780	30,000	890	20,000	1,350	7,000	2,560	10,000	2,850	10,000	1,320
70,000	5,490	70,000	3,225	40,000	1,150	30,000	1,970						
80,000	6,430	80,000	3,670	50,000	1,476	40,000	2,790						
100,000	8,310	100,000	4,560	60,000	1,806	50,000	3,720						
				80,000	2,466								

○建物共済掛金表(1万円に対して24円の掛金)

(表3)

事項	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金	加入金額	共済掛金
一棟当り	30,000	7.2	50,000	120	100,000	240	150,000	360	200,000	480	300,000	720
	500,000	1,200	800,000	1,920	1,100,000	2,400	掛金率は対万24円					

○疾病又は傷害の一事故についての支払共済金の限度表

(表4)

乳牛		育成乳牛		和牛		馬		山羊		綿羊		豚	
共済金額	共済金	共済金額	共済金	共済金額	共済金	共済金額	共済金	共済金額	共済金	共済金額	共済金	共済金額	共済金
30,000	1,750	40,000	2,250	10,000	680	10,000	750	3,000	740	3,000	440	4,000	550
50,000	2,750	50,000	2,750	20,000	1,130	15,000	1,000	5,000	1,120	6,000	760	8,000	980
60,000	3,250	60,000	3,250	30,000	1,580	20,000	1,250	7,000	1,480	10,000	1,200	10,000	1,200
70,000	3,750	70,000	3,750	40,000	2,030	30,000	1,750						
80,000	4,250	80,000	4,250	50,000	2,480	40,000	2,250						
100,000	5,250	100,000	5,250	60,000	2,930	50,000	2,750						
				80,000	3,830								

共済金額とは、加入している金額であり、共済金は、この金額までは獣医師が無料で診療します。

○支払共済金算定方式

(表5)

$$A = (B - C) \times \frac{E}{D}$$

∴ A = 支払共済金

B = 事故発生前の価格

C = 肉皮等残存価格(事故発生前の価格の $\frac{1}{2}$ を限度とする。)

D = 時下価格

E = 加入額

また末加入の方は、早速加入の手続きをして、安心して家畜を飼育したり、不慮の事故の際建物の新築がでる備えをいたしましょう。

(2)より

(昭和38年5月中値) 1才当り

長さ	末口	すぎ	ひのき	まつ	備考
4.2 m (14 尺)	4.0 上				定場 1m当り 60円~75円
	6.0 上			35.00	
	10.0 上			41.00	
4 m (13.2 尺)	3.5 下	54.00	54.00		ざつバルブ 末口20上11 円50銭
	4.0 上	47.00	51.00		
	6.0 上	48.00	52.00		
3 m (10 尺)	3.0 下	44.00	46.00		松、箱林、1才 当り 直木35上 25円
	4.0 上	46.00	59.00		
	6.0 上	45.00	51.00		
2.1 m (7 尺)	1.5 下			13.00	" 50上 29円
	2.0 上			22.00	
2 m (6.6 尺)	3.5 下	17.00	17.00		本表は肱川町内 で自動車に積込 みできる土場で の値段で中値で す
	4.0 上	25.00	25.00		
	6.0 上		32.00		
1 m (3.3 尺)	3.0 上	14.00	15.00		

末口は寸で書いてあります。